



## 天気を予想しましょう！

気象庁は、「先週18日(木)に、沖縄地方と鹿児島県の奄美地方が梅雨入りしたとみられる。」と発表しました。これは全国で一番早い梅雨入りです。沖縄は例年より8日、昨年に比べて14日も遅く、奄美は例年より6日、昨年に比べて13日も遅い梅雨入りとなったそうです。

民間の気象情報会社の「ウェザーニュース」によると、今年の梅雨入りは、全国的に例年より遅く、期間は短めで、雨の量は例年と同じくらい降ると予想しています。これは、一度に振る雨の量が多くなるということが推測できます。

これから先は、天気予報をお家の話題にあげてもらいと、ありがたいです。例えば、今日一日の天気の移り変わりについて、降水確率について、週の天気予報についてなどです。ある天気予報士は、降水確率30%を境に「傘を持っていった方がいい」と言っていました。話題上がった情報を基に、天気の予想をして、外に出て実際の天気を体感することで、数字だけではピンとこないことも、実感として味わうことができます。そういう意味でも、天気を予想することは、自然と向き合うための入り口なのかもしれません。さらに家庭内でのコミュニケーションの豊かさにも繋がります。これから、大雨や線状降水帯、台風などの情報も、自分を守るための貴重な情報源となります。そのためにも天気の予想をして登下校に備えて欲しいと思います。



## 今後5年間気温予想

国連の世界気象機関(WMO)は、17日、エルニーニョ現象の発生により、今年から5年間の世界の気温が記録的に高まる可能性があるとして発表しました。18世紀の産業革命前と比した地球の平均気温が、一時的に1.5度を上回る確率を66%と予測しました。多くの国は、気象変動対策の「パリ協定」に基づいて、世界の平均気温の上り幅を、産業革命前から1.5度以内にする目標を掲げています。WMOのターラス事務局長は「世界の気温を未知の領域に押し上げるだろう。」と警告しています。

## 気になる県内インフル情報

今日の熊日朝刊に、県内のインフルエンザ情報が掲載されていました。県が発表する1週間の患者数は、4週連続で増えており、直近では215人の感染者の報告が上がっているそうです。新型コロナが流行った過去3年間はゼロで、この時期に200人を上回るのは10年振りということです。専門家は「コロナの5類移行で感染対策が緩んだことが影響している」とみて、注意を呼び掛けています。

また、学級閉鎖や学年閉鎖も相次いでいるようで、専門家も「コロナ下でインフルエンザは流行せず、集団免疫が低下している。発熱などの症状があったり、高齢者と接触したりする場合はマスクを着けるなど、基本的な対策を続けて欲しい。」と述べています。運動会等も控えていますので、今後も引き続き、コロナの動向も含め、インフルエンザの流行にも気を付けていきましょう。

